



栗山川は泣いている

みんなで考えよう生活雑排水

私たちの栗山川は、豊富な水量をもとに、耕地をうるおす農業用水として、また、上水道用水・工業用水として、広く利用されています。

そのほか、雄大な流れと周辺の自然美は、住民の散策の場に、格好の釣場にと親しまれ、私たちの生活にはかり知れない恵みを与えて続けています。また、近年では、サケ回帰南限の川として全国的にも有名になりました。

この母なる川、栗山川が、残念ながら年ごとに汚染の波にさらされ、このような状態が続きますと、やがて死の川と化してしまう恐れさえあります。その一番の原因として考えられるものに、生活雑排水があげられます。

ちよつとした工夫で

自然の美しさを取り戻そう

生活雑排水が川を汚しているといってもピンとこないかも知れませんが、みなさんの家庭から出される僅かな食べ物のカスや洗剤などが、積み積って大量なものになるため、川へ注ぐ時には大変な汚染源となってしまうのです。

この対策として最も効果のある方法は、下水道を完備することですが、莫大な費用と年数を要しますので、当分は無理な話だと思えます。ちなみに日本の下水道の普及率は30%程度で、しかも大都市が中心です。従って下水道の無いところは、家庭から流れ出た汚物汚水のそのほとんどが、きたないままの状態

で川や湖に注がれてしまっし、場合によってはその中間の農地等まで汚染しています。河川など流れのある水は、自浄効果といって、多少の水の汚れはきれいにする力があります。しかし、この栗山川のように沿線何百世帯、何千世帯もの汚れた水が大量に流れ込んだのでは、自浄効果も期待できなくなってしまうのです。

そこで、横芝町の顔でもある栗山川を、美しい川に戻すため、各家庭で生活雑排水を流すとき、どんなことに注意したらよいかを考えてみましょう。

ちよつとした工夫を一つのエチケットとして、みんなで実行していけば、きっと美しい栗山川がよみがえる筈です。

家庭でできる

浄化対策

台所

食 べ物の残りカスや調理くずなどは、なるべく流さないように

水と一緒に残りカスが流れないようにストレーナー（流しについているこし器）は、できるだけ目の細かいものを利用しましょう。調理くずや食べ残しは生ゴミとして出すか、埋めて土にもどしましょう。

古 くなった油は、流しに流さないように

油を流しにそのまま流すと、水を汚すとともに、パイプ詰まりの原因になります。油を捨てるときは、紙等にしみ込ませてゴミとして捨てましょう。

台所用洗剤の使いすぎに注意

台所用の洗剤は、普通、水1ℓに対して茶さじ1杯が標準使用量です。僅かの量で十分に汚れが落ちます。原液を薄めて使う

などの工夫をしてください。

浴室・洗濯

風呂 目の残り湯はいつきに抜かないようにしましょう

浴槽は小さいものでも約200ℓ入ります。それをいつきに抜いてしまうと、ためマスを沈殿していたゴミがわきあがって流れ出してしまいます。

水を汚さないためにも、風呂の水は洗濯や掃除、まき水などに利用し、一度に流す量を少なくするようにし、また、ためマスを小まめに清掃しましょう。

洗濯 は、粉石けんや無リンのものを適量使いましょう

洗剤には、汚れを落とす力を強めるためにリンが含まれていることがあります。リンは水を汚したり、悪臭のもとになります。洗濯する時は粉石けんや無リン洗剤を利用し、洗剤の量も入れすぎないようにしましょう。

☆将来は下水道

それまではみんなの努力です

町でも今後、都市計画等を実 施して、将来は下水道を完備し